

数学ができるようになりたい君へ！！ 必読

☹️ 数学が苦手な（すぐに忘れてしまう）人の特徴

問題が与えられると（それほど易しい問題でなくても）すぐに解答を書き始める。

そのほとんどが数式の羅列であり、何を狙っている解答なのかははっきりしない。

問題文にある条件から自分の知っている公式を思いだし、その知識を何となく並べている。

問題が解けなかったとき、ただ解答を読み、納得し（したつもりで）、模範解答を赤ペンで写して終わり。

😊 問題への向き合い方 [いかにして問題を解くか]

- ① 問題を理解する ② 計画を立てる ③ 計画を実行する ④ 振り返ってみる

① 「問題を理解する」

与えられている条件を正しく理解し、最終的に何を求めるかを正しく理解すること。出題者の気持ちになって、

- ・ なぜこの問題にこの条件が必要なのか ・ なぜこのような問いかけになっているのか（小問の流れ）
- ・ 出題者はこの問題を通してどのような力を見たいのか といったことまで幅広く考えられるとベストです。

② 「計画を立てる」

- ・ 問題のテーマを把握し、そのテーマに関する知識を整理する。
- ・ 過去に経験してきた類題を思い起こし、考えられる手法を列挙する。

→ ゴールへの道筋をイメージ

③ 「計画を実行する」

（①で細かく分析した問題文の条件）＋（②で整理した既知の知識）→ 結論へ

「単に知っている知識や公式を羅列するだけでなく、自分はどういう方向に進みたいのか、そのためにはどのような知識や手立てが必要なのかを確認しながら進めること」

* 解答に「よって」「なぜならば」「～を示すには…～を示せばよい」といった日本語を正しく用いることで自分の考えがよりクリアになる。

☆④ 「振り返ってみる」

（ア）答えが合っていた場合

・ 自分の解答と模範解答とを見比べる。解法が同じ場合、解答の読みやすさと論理展開を見比べて自分の解答は読みにくいのか（日本語の使い方や、図やグラフの使い方なども）、同じ方針であっても、論理的な欠如や余分な記述はないかといったことを、自分が採点者の気持ちになって模範解答と比べる。

（イ）答えが間違っていた場合

模範解答を赤ペンで写して終わり

↓
分かったつもり

この学習方法の一番の欠点は、解説を読んだ直後は理解できるが、なぜ自分が解けなかったのかという自己分析が足りなかったために、時間が経つとすぐに忘れてしまうことです。少しでも身に覚えがある人は「自分が解けなかった原因」を徹底的に追求すること！

- ・ 自分が知らなかった知識は何か
- ・ 見落としていた条件はなかったか
- ・ 解決の決め手は何か
- ・ 類似問題の把握は十分であったか
- ・ どの部分が自分にとって難しかったか

「解けた問題はゴミ。
解けなかった問題はダイヤモンドのような宝物」

1 週間後、
2 週間後、
3 週間後に

再チャレンジ！！自力で解決するまで繰り返す！！